みずほマーケット・トピック（2021 年 5 月 21 日）

内容　1．為替相場の動向　　2．来週の注目材料
※誠に恐れ入りますが、「3．本日のトピック」はお休みさせて頂きます。

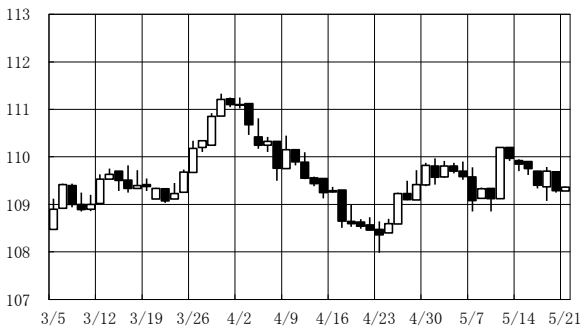
1．為替相場の動向（関連レポート：「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」）

- 今週のドル/円相場は上値の重い展開となった。週初 17 日、109.40 円付近でオープンしたドル/円は、仲値にかけて一時週高値の 109.50 円まで上昇するも、日経平均株価の下落や先週末からの米国経済指標の弱い内容を受けてドル売り優勢となり、109 円付近まで下落。その後はやや材料に欠け、109 円台前半での小動きとなった。18 日は、米金利の伸び悩みからじりじりと下落。欧州時間序盤にリスクオンのドル売りが活発化し 109 円を割り込んだ。その後も、米 4 月住宅着工件数が冴えない結果となったことから 108 円台後半での上値の重い推移となった。19 日、ドル/円は、日経平均株価の下落にも反応せず、じりじりと上昇した。海外時間では米金利が上昇する動きに 109 円台を回復したが、資源価格や暗号資産の急落により株安・金利低下の流れが強まると一時週安値 108.58 円まで下落した。その後公表された FOMC 議事要旨では今後の経済回復ペースの度合いに応じて、量的緩和縮小の必要性が議論されたことが材料視され、109 円台前半まで値を戻した。20 日は、前日の FOMC 議事要旨の発表以降続いた米金利上昇が一服し、ドル/円は軟調地合いとなった。その後発表の米 4 月フィラデルフィア連銀景況指数は予想を下回り、108 円台後半まで続落となった。本日のドル/円は 108 円台後半での取引となっている。
- 今週のユーロ/ドル相場は上昇する展開となった。週初 17 日、1.21 台半ばでオープンしたユーロ/ドルは、海外市場でドル売りが優勢となり一時 1.21 台後半まで上昇。その後は、新規材料に欠ける中、利益確定の売りなど調整中心の動きが継続し、1.21 台前半から半ばでの小動きとなった。18 日は、米金利の低下を受けてドルが売られる展開となり、1.22 台前半まで上昇した。その後は随所で利食いのユーロ売りが入ったが、ユーロ/ドルは底堅い値動きが継続した。19 日も、米金利低下によるドル売りが続くと一時週高値の 1.2245 まで上昇したが、その後は FOMC 議事要旨の内容を受けてドルが買い戻され、ユーロ/ドルは 1.21 台半ばまで下落した。20 日は、前日後半の流れが一巡してじりじりと値を上げ、後半も軟調な米経済指標を背景に 1.22 台前半まで続伸した。本日はユーロ/ドルは週高値近辺での取引となっている。

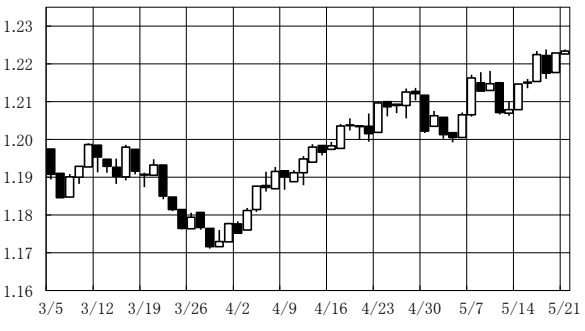
今週のおもな金融市場動向（出所：ブルームバーグ、みずほ銀行）

		前週末	今週			
		5/14(Fri)	5/17(Mon)	5/18(Tue)	5/19(Wed)	5/20(Thu)
ドル/円	東京9:00	109.52	109.43	109.25	108.87	109.27
	High	109.65	109.50	109.28	109.33	109.30
	Low	109.18	109.08	108.83	108.58	108.75
	NY 17:00	109.35	109.25	108.91	109.20	108.79
ユーロ/ドル	東京9:00	1.2076	1.2149	1.2156	1.2223	1.2171
	High	1.2147	1.2169	1.2234	1.2245	1.2229
	Low	1.2072	1.2127	1.2153	1.2160	1.2169
	NY 17:00	1.2147	1.2152	1.2224	1.2175	1.2229
ユーロ/円	東京9:00	132.29	132.92	132.80	133.08	132.98
	High	132.83	132.94	133.17	133.43	133.05
	Low	132.29	132.55	132.72	132.64	132.74
	NY 17:00	132.83	132.74	133.11	132.95	133.03
日経平均株価		28,084.47	27,824.83	28,406.84	28,044.45	28,098.25
TOPIX		1,883.42	1,878.86	1,907.74	1,895.24	1,895.92
NYダウ工業株30種平均		34,382.13	34,327.79	34,060.66	33,896.04	34,084.15
NASDAQ		13,429.98	13,379.05	13,303.64	13,299.74	13,535.74
日本10年債		0.08%	0.08%	0.08%	0.07%	0.08%
米国10年債		1.63%	1.65%	1.64%	1.68%	1.63%
原油価格(WTI)		65.37	66.27	65.49	63.35	61.94
金(NY)		1,838.10	1,867.60	1,868.00	1,881.50	1,881.90

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

・ 米国では、本日 21 日(金)に 4 月中古住宅販売件数、25 日(火)に 4 月新築住宅販売件数の発表を控える。3 月の中古住宅販売件数(季節調整値、年換算)は 601 万件で前月比▲3.7%減少し、7 か月ぶりの低水準となった。片や、3 月新築住宅販売件数は 102 万件で前月比+20.7%と大きく増加した。2 月の寒波の影響による揺り戻しと、着工待ち販売済み住宅件数の伸びが目立ったことが要因と考えられる。なお、ブルームバーグの事前予想では 4 月の中古住宅販売件数を前月比+1.0%としている。また、新築住宅販売件数に関しては、同▲7.0%の予想となっている。

・ 欧州では本日 21 日(金)にユーロ圏 5 月 PMI(速報)が公表予定である。4 月総合 PMI は 53.8 と 3 月に続き 50 を上回った。内訳を見ると、製造業が 62.9 でサービス業は 50.5 となった。製造業は 1997 年 6 月の調査開始以来、最高を記録し、サービス業は昨年 8 月以来となる 50 を上回る結果となった。欧州ではワクチン接種の遅れが懸念されていたものの、今後の接種率が加速するとの期待から先行きの見通しが改善したことが PMI を押し上げることとなった。なお、ブルームバーグでは 4 月の結果に関し、総合が 55.1、製造業、サービス業をそれぞれ 62.5、52.5 と予想している。

・ 本邦では 28 日(金)に 4 月失業率、有効求人倍率が発表される。失業率について、3 月の結果は 2.6%と 0.3%ポイント改善した。有効求人倍率は 1.10 倍とほぼ横ばいの推移ながら 9 か月ぶりに改善となった。なお、20 年度の失業率は 2.9%を記録し、19 年度と比較して 0.6%ポイント悪化した。有効求人倍率は 1.10 倍となって、前年度から 0.45 ポイント悪化している。4 月の結果に関して、緊急事態宣言の再発令の影響で飲食・娯楽・小売など対面型サービスをはじめ、雇用は軟調な推移となることが見込まれる。ブルームバーグの事前予想では、完全失業率を 2.7%、有効求人倍率を 1.10 倍としている。

	本　　邦	海　　外
5 月 21 日(金)	・4 月全国 CPI ・5 月製造業/サービス業 PMI (速報)	・ユーロ圏 5 月製造業/サービス業 PMI (速報) ・ユーロ圏財務相会合 (ユーログループ) ・米 4 月中古住宅販売件数
24 日(月)	・4 月全国百貨店売上高	・米 4 月シカゴ連銀全米活動指数
25 日(火)	・4 月工作機械受注 (確報)	・独 1～3 月期 GDP (確報) ・米 4 月新築住宅販売件数
26 日(水)	・3 月景気動向指数 (確報) ・4 月企業向けサービス価格指数	――――――――――
27 日(木)	――――――――――	・米 1～3 月期 GDP (確報)
28 日(金)	・4 月失業率/有効求人倍率	・ユーロ圏 5 月消費者信頼感指数 (確報) ・米 4 月個人所/個人支出 ・米 4 月コア PCE デフレーター ・米 5 月ミシガン大学消費者マインド (確報) ・米 22 年度予算教書発表

【当面の主要行事日程(2021 年 6 月～)】

ECB 政策理事会 (6 月 10 日、7 月 22 日、9 月 9 日)
FOMC (6 月 15～16 日、7 月 27～28 日、9 月 21～22 日)
日銀金融政策決定会合 (6 月 17～18 日、7 月 15～16 日、9 月 21～22 日)

市場営業部・金融市場部
チーフマーケット・エコノミスト
唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html （Archives） http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2021年5月20日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2021年4月分）
	FOMC議事要旨～テーパリングが必要なのは財政政策？～
2021年5月19日	ECBのテーパリングはあるのか？
2021年5月18日	鮮明になる円に対する低い関心
2021年5月17日	円相場の基礎的需給環境～Q1を終えて～
2021年5月14日	週末版
2021年5月13日	インフレ懸念で米金融政策は動きそうか？
2021年5月12日	連動が戻り始めた米株価と米消費者心理
2021年5月11日	スコットランド独立を巡るQ&A～現状と展望～
2021年5月10日	最近の為替市場に見る「正常化の胎動」
2021年5月7日	週末版（FRBの対話を阻害してしまうイエレン長官の存在～避けたい「院政」状態～）
2021年5月6日	明暗が鮮明になった「米国 vs. ユーロ圏＆日本」
2021年4月30日	週末版
2021年4月27日	「成長痛」に直面しそうな新興国はどこにあるか？
2021年4月26日	年後半に警戒したい金融市場の「成長痛」
2021年4月23日	週末版（ECB政策理事会を終えて～6月、テーパリングと曲解されるリスクを警戒～）
2021年4月21日	ユーロ圏銀行貸出態度調査～与信環境の厳しさは継続～
2021年4月20日	調整色が強まってもワクチン相場の核心は変わらず
2021年4月19日	為替政策報告の読みから～イエレン長官の思惑は～
2021年4月16日	週末版（長きにわたる正常化プロセスの始まりか～まずはパウエルショックの回避が至上命題～）
2021年4月15日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2021年3月分）
2021年4月14日	多様化が進む世界の外貨準備～ドル離れが顕著に～
2021年4月13日	ユーロ相場の展望～盤石の需給が支えに～
2021年4月12日	近年の「年間値幅」をこなしたドル/円相場の今後
2021年4月9日	週末版（GFSRも懸念する世界経済の「成長痛」～中長期的に拡がる「金利の無い世界」のフロンティア～）
2021年4月7日	IMF世界経済見通しが示す新興国の憂鬱
2021年4月6日	暗雲垂れ込めるアフターメルケルのドイツ政治
2021年4月5日	米3月雇用統計の読み方～長期失業者割合は上昇～
2021年4月2日	週末版(欧州で台頭するワクチン・ナショナリズム～EU 離脱を象徴するワクチン戦争～)
2021年4月1日	ラガルドECB総裁、「挑発」の真意はどこに？
2021年3月29日	リスクシナリオの点検～上下のリスクを検討する～
2021年3月26日	週末版(現状を理解するための3つのテーマ「金利」・「コロナ抑制状況」・「原油」～「需給」は小休止～)
2021年3月25日	ドイツ州議会選挙に見る「移民から環境へ」のシフト
2021年3月22日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2021年2月分）
2021年3月19日	週末版(「実質金利ゼロ」が次の節目？～ハイライトは4～6月期か？～)
2021年3月18日	FOMCレビュー～現状維持に見る強気の足音～
2021年3月16日	FOMCプレビュー～ドットチャート＆議長会見～
2021年3月15日	期待の米国、不安の日本～コロナ対応の明暗～
2021年3月12日	週末版(ECB政策理事会を終えて～significantly higher paceの解釈～)
2021年3月11日	ECB政策理事会プレビュー～PEPPの加速を示唆へ～
2021年3月9日	年初来の為替市場から見える「今年のテーマ」
2021年3月8日	好調な米2月雇用統計にも見逃せない危うさ
2021年3月5日	週末版
2021年3月4日	英ポンド急騰の背景～経済対策、ワクチン、成長率～
2021年3月3日	米金利に連られたユーロ圏金利～ECBは容認できず～
2021年3月2日	「鏡に映った自分」に惑うFRB～前提が変わった2か月間～
2021年2月26日	週末版(米10年金利の1.60%台到達を受けて～パウエルショック～)
2021年2月25日	マネーサプライを見てインフレ語れず～パウエル公聴会～
2021年2月22日	「民間部門の貯蓄過剰」は今後の「マグマ」なのか？
2021年2月19日	週末版(ECB政策理事会議事要旨を受けて～明記された「ユーロ高反転」～)
2021年2月18日	動き始めた米実質金利への懸念～10年1.3%到達を受けて～
2021年2月16日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2021年1月分）
	アフターコロナを予感させる米国のインフレ論争
2021年2月15日	ドラギ新首相誕生について～「挙国一致」と「寄せ集め」の狭間～
2021年2月12日	週末版(下がらない実質金利とイールドスプレッドの現状～やはり気になる「米10年金利1.5%」という節目～)
2021年2月9日	円相場の需給環境～貿易均衡国という新常態～
2021年2月8日	試される「双循環」～人民元の上昇は容認されるか～
2021年2月5日	週末版(なぜユーロ圏消費者物価指数（HICP）は急騰したのか？～一過性のまやかし～)
2021年2月4日	最悪の落ち込みとなった2020年のユーロ圏経済
2021年2月2日	イスラエルリスクをどう考えるか～世界の実験室～
2021年1月29日	週末版(マイナス金利深掘りを示唆し始めたECB～その理由はどこに？～)
2021年1月27日	米10年金利はどこまで上がりそうか？
2021年1月25日	最悪となった2020年のユーロ圏物価情勢
2021年1月22日	週末版(ECB政策理事会を終えて～「次の一手」はYCC？～)
2021年1月20日	「強いドル」とは言わなかったイエレン新財務長官
2021年1月19日	直接投資減少で緩むドル/円相場の「地盤」
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2020年12月分）
2021年1月18日	金融市場はバイデン新政権をどう見ているのか？
2021年1月15日	週末版(ECB政策理事会議事要旨～ラガルド流が試されるのは昨年よりも今年～)
2021年1月13日	実質金利の上昇はどこまで容認されそうか？
2021年1月12日	米12月雇用統計の読み方～ヘッドラインに引きずられずに～
2021年1月8日	週末版(早速乱れ始めたFRBのフォワードガイダンス～いつも通りの済し崩し～)
2021年1月7日	緊急事態宣言の再発出で強まる貯蓄という正義
2021年1月5日	遂に2%に到達した米国のインフレ期待
2021年1月4日	低金利が招く格差拡大・為替の静寂・株の喧騒
2020年12月28日	英EU「新たな関係」合意を巡るQ&A
2020年12月25日	週末版
2020年12月24日	やっぱり狭かったドル/円の値幅～3つの背景～
2020年12月23日	期待指数に薄日も差し込んできた米消費者マインド
2020年12月21日	2021年も続く「金融市場と実体経済の乖離」
2020年12月18日	週末版(為替政策報告書を受けて～垣間見える「まだ、ドル高」の本音～)
2020年12月17日	FOMCを終えて～約束された「金利差なき世界」～
2020年12月16日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向（2020年11月分）
2020年12月15日	イエレンダッシュボードで見る米雇用の現状
2020年12月14日	ドル安の裏側には何があるのか？～元、ユーロの存在～
2020年12月11日	週末版(ECB政策理事会を終えて～「中途半端」でユーロ高抑制できず～)
2020年12月10日	「イエレン次期財務長官と為替」というテーマ
2020年12月8日	前門のブレグジット、後門の次年度予算
2020年12月7日	米労働市場の抱える怖さ～長期失業者の増加～